

新支部長に大島氏

建設コンサルタンツ協会関東支部

建設コンサルタンツ協会関東支部は26日、09年度定例総会を東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で開催、友澤武昭支部長が退任し、大島一哉建設技術研究所代表取締役社長が新支部長に就任した。

総会終了後に開催された懇親会で、大島新支部長は写真には「各地域の特性を考慮するとともに、それぞれの課題を踏まえるなどして、着実に前進していく。これらの



取り組みを通じて、より一層魅力と希望のある建設コンサルタンツ業界に」と述べ、「厳しい環境にあるが、希望を持って活動を進め、活性化を図っていく」と力強く語った。

09年度の主な事業計画では、品質確保のための技術力による選定の促進

として、国土交通省関東地方整備局に対しては、協会本部の方針並びに「設計コンサルタンツ業務等成果の向上に関する懇談会」（国土交通省）の結果を踏まえ、プロポ

ータル方式、総合評価方式等に関するフォローアップの対応をとる。自治体に対しては、プロポータル方式、総合評価方式に関する領域・件数拡大の要望を続ける。